



ITサポートレター

ITサポートのなかまたちが
記事を作成しています

TEL:098-961-6715 / FAX:098-961-6716 営業時間:9:00~17:00 定休日:土・日・祝祭日

新年のあいさつ&成人祝い

新年あけましておめでとうございます。

2022年のITサポートおきなわはA型7名、B型23名始まりました。

年末にコロナが少し収まり新しい仲間も増えましたが、1月に入りコロナの激増でまん延防止でまたまた在宅利用を促しています。

ITサポートは元々在宅利用を想定している事業所なので自宅の通信環境が整っていること、在宅に必要なソフト関連を使いこなせるスキルがあれば在宅の利用ができます。

現在もほとんどの方が在宅での利用を行えているのもITの強みだと思います。

今年もIT技術を生かした仕事をたくさんこなしていけたらと思っています。

今年ITサポートおきなわでは4人の新成人の方がいます。4名とも特別支援学校卒業後ITサポートに入り1年9か月となりました。若い子どもたちが殆んど病気もせず毎日出勤できたことが素晴らしい事です。

事業所では1月7日に成人を祝う会を行いました。4人とも緊張しながら挨拶も行ってました。記念品を受け取るとにこやかな表情の4人でした。

(藤江)



祝 B型1周年

2021年10月1日(金)にB型の1周年の祝賀会を事業所近くの「東洋飯店」にて行いました。

コロナ禍でのお祝い事には気を使いましたが、消毒の徹底、三密の徹底などコロナ対策をしっかり行うことで実現しました。特に会場の東洋飯店さんには本来の業務と違う「弁当」方式を取り入れていただき、食事の時の密にご協力いただきましたことをうれしく思っております。

祝賀会では1周年を振り返り利用さんの声を聴いたり、久しぶりに会う在宅利用者さんの顔を

を見て「うれしいね」などの声も上がっていました。

B型が開所して1年、利用者の数も増え、仕事も少しずつ増えてきています「業務委託」という形が出てきていることで「担当者」を置けるようになっています。今後とも生産活動に参加できる方が増えてほしいと願っています。(藤江)



A型食事会開催

11月4日、A型メンバーで集まりゲスト那覇天久店で昼の食事会を催しました。

ほとんどのメンバーは普段は在宅勤務で週1回通所する程度でお互い顔を合わせてゆっくり食事を取ることもないので、当時コロナ第5波が収束しかけたタイミングを見計らって参加できるメンバーで行ってきました。

コロナ禍ということもあり、いつも以上に行かないゲストで経費は事業所持ちということもあり、皆さんいつも以上に楽しそう。

それぞれで好きな料理を注文し、満足な様子でした。しばらくはお互い顔を合わせることがなくなりますが、次の収束にはまた行きましょう!(砂川)



ご注文ありがとうございます 封入・記帳代行・ スキャン・文字起こし

最近、大きな仕事が入りました。

一つ目は**書類等のスキャン作業**です。

「自宅の古いアルバムや名刺など大量にあるが、処分前に電子化したい」というご依頼を複数承り、専任のスタッフでスキャン作業を行っております。

二つ目は**記帳代行**です。

現在下請けで入力させていただいている企業が4社一気に増えました。記帳代行はレシートや領収書を会計システムへ分類分けして入力する仕事ですが、分類分けが人によって難しいので、いくつか段階を作って細分化し、効率的な入力を目指しています。

三つ目は**ハガキに手書きで書かれた個人情報**をクラウドのシステムに入力する仕事です。

個人情報なので慎重に、間違いのないように気をつけて入力しないとけません。内容毎に入力や判断に難易度があるので、作業のフェー

ズ毎に専門のスタッフを担当させて作業を分散・効率的にこなしております。

四つ目は**ある大会の参加者への商品発送**。

商品の種類がいくつもあり、お客様毎に詰め込む商品が違うので、間違わないように効率よく仕分けし、手際よく封入しないとけません。途中、想定外のアクシデントが幾度かありましたが、なんとか予定2日遅れの範囲で終わることができました。(砂川)



普天間さん一般就労決定！！



普天間直樹さんが在宅での一般就労が決まりました。内定をいただいた会社へは4人目の採用となります。

3月入社に向けて「**就労移行から2年半で就職することができました。これからも目標を立て、それを一つずつクリアしていきます**」と今から期待を膨らませている普天間さん。

ITサポート
おきなわはこれからも在宅支援・在宅就労を推進してまいります。(小倉)





福祉講話

10月に石嶺小学校4年生の総合の授業に卒業生である大城洸太郎さん、鈴太郎さんが当事者講師として参加しました。

自分の障害や車いすでの生活体験を話すると児童からは様々な質問がが相次ぎ答えるのに必死な姿も見られました。

母校での講話ということで、本人たちの4、5年生の時に世話になった先生にも久しぶりに会うこともできとてもうれしそうな二人でした。(藤江)



特支実習生体験

コロナ禍で6月より何度も延期された鏡が丘特別支援学校の就業体験実習が12月に行われました。

学校でもパソコンを使った検定試験などを行っていることからパソコン操作には慣れている高校生たち。仕事のためにモニターを2画面にする作業に全員が驚いていました。

モノレール利用の体験も行いました。(藤江)



忘年会開催



昨年末(12/28)仕事納めの日に忘年会を開催しました。

コロナ禍で集まる機会も減り、開催もできるか心配される中、待望の忘年会。年末に楽しい思い出をつくることができました。(前年はオンラインでの開催)



密を避けるため広い空間(沖縄県総合福祉センター研修室)にしたり、消毒や換気など参加者の安心・安全のためしっかりと感染防止対策を図りつつの開催です。

食事を楽しんだ後はじゃんけんゲームやビンゴ大会も行い大いに盛り上がりました。

普段は在宅利用の方もこの日は他の皆さんと交流ができ満足していただけたようです。

今後も状況に応じた内容で感染対策を図りながらみんなで楽しめるイベントを開催してまいります。

そして、次回こそはマスクなしの気軽な開催に戻れることを期待しています。(小倉)

編集後記

コロナ第6波が猛威を振るう前に何とか忘年会を開催することができました。職員・利用者も合わせ総勢40名以上で在宅勤務も増え、利用者同士の交流が減ったのでお互いの顔を合わせるよい機会になりました。次の機会は春でしょうか・・・?

